

松山市地域振興構想 概要版の構成についての考え方資料

『地域の魅力発信！ワークショップ』の意見

- 地域の魅力発信！ワークショップでは、特に観光情報や食、地域の風景・景観などに関する情報発信をしていきたいという声が特に多く、**次いで、その中でも地域で活動する団体(人)などの情報や、地域の取組、住民の声など、地域で暮らす・まちづくりに取り組む人の様子について伝えていきたい**という趣旨の意見が多かった。また、「松山市地域振興構想」の展開方法としては、**保育園や幼稚園、学校などの配布や教材として活用するなど、地域の愛着やまちづくりの意識を根付かせるために活用していく**といった**市内(内部)の意識醸成**に関する意見が多かった。
- 松山市地域振興構想は、「地域主体のまちづくりを推進し、各地域が一体となって更なる地域の賑わいと持続的な発展をめざす」ことを趣旨とした計画である。この実現のためには、地域住民・市民のまちづくりに対する関心・意識醸成や仲間づくりが重要であることから、**「地域住民、市民が、まちづくりに対して関心や意識を持ってもらえる」冊子(概要版)づくり**を検討する。
- ワークショップで意見が多かった地域で活躍する団体や住民の声などを取り入れたものとともに、意見の多い、**子どもにもまちづくりの大切さを意識・理解してもらえる教科書的な内容を意識して構成**する。

■伝えたい情報・紹介したい内容:分類(第1回、第2回総括)				
観光・体験・イベント [主な意見] ○地域のイベント・祭りの情報 ○おすすめの(穴場)スポット ○釣りスポット など	食・名産・店舗 [主な意見] ○地域の名物 ○おいしい飲食店・カフェ ○地元産品にこだわる店 など	地域の風景・景観 [主な意見] ○自然豊かな場所や古き良き町並み ○非日常的な体験ができる島の暮らし ○SNS 映えしそうな絶景スポット など	地域で活躍する人・取組や住民の声 [主な意見] ○地域の取組 ○地域で活躍する人や住民の声 ○学生と地域のコラボなどの様子 など	生活利便性 [主な意見] ○子育てのしやすさ ○コンパクトなまちであること ○市内電車などのアクセス など
地域の文化・歴史 [主な意見] ○松山市の歴史・魅力 ○お遍路さんのお接待文化 ○四国八十八カ所 など	移住者向け情報 [主な意見] ○移住体験ができること(忽那諸島) ○移住者からの声や視点 など	産業・雇用 [主な意見] ○仕事の情報・仕事があること ○地場の企業の紹介 など	行政の取組 [主な意見] ○行政(松山市)の取組やこれから取り組もうとしていること など	
■松山市地域振興構想の広め方・展開方法(第2回総括)				
教育機関等での活用・周知 [主な意見] ○保育園・幼稚園・学校、大学等での配布 ○中学校の総合学習で教材として配布 ○自由研究でも使えるようなものにする ○学校で持ち帰り、家に帰って話すしかけ など	主要施設への計画配置 [主な意見] ○駅の人が集まる所に設置する ○バス・電車の中に置く ○お店や公民館、市役所、県庁などに置く など	SNS・HP などでの周知 [主な意見] ○SNS との連携 ○HP でダウンロードできるようにしておく など	ラジオ等での周知 [主な意見] ○ラジオや CM で宣伝する など	イベントでの配布 [主な意見] ○イベント配布。スタンプラリーとして使う など

松山市地域振興構想[概要版]の構成案 ※現段階のイメージ

頁	構成内容案	
1	表紙	松山市地域振興構想[概要版]としての表紙を掲載
2	松山市のまちづくり	『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想の考え方とあわせて、「なぜ、市民主体でまちづくりに取り組んでいくことが大事なのか」を説明
3	地域に対するみんなの想い	地域の賑わう姿などの地域ヒアリングの声から、どんな地域になると良いか等の想いを掲載。これを受けて、 <u>住んでいる地域の好きなおところや将来のまちを考えて記入してもらうワーク欄</u> を設ける
4	賑わいや活気あふれるまちにしていけるために…	地域の好きなおところを守り、魅力を広めるために、また、理想の地域を実現していくために、どんなまちづくりが大事なのか(地域振興の基本理念)や、そのためにどんな行動をしていくことが大切なのか(行動指針)を掲載。また、行動理念に紐づく、まちづくりの取組事例等も掲載。これを踏まえ、 <u>具体的にどんな行動がまちづくりにつながるかを考えるワーク欄</u> を設ける
5		
6	めざすまちの姿の実現に向けた地域のまちづくり	基本理念や行動指針を踏まえて、各地域(忽那諸島、風早、久谷、三津浜)が、どんなまちを目指して、どのようなまちづくりに取り組むのかを掲載。
7		
8	まちづくりに身近なおところから取り組んでみよう	高校生ワークショップの様子から、「まちづくりについて、自分たちでも取り組めること」の意見を掲載。これを踏まえ、 <u>自分たちで取り組めそうなことを考えるワーク欄と、実践できたら◎をつけるチェック欄</u> を設ける

[イメージ事例] 玉名市景観計画 -市民版-
(<https://www.city.tamana.lg.jp/q/aview/137/7285.html>)

Q. 良い景観ってどんな景観なの？

A. 「地域らしさを感じる景観」が良い景観といえます。

良い景観とは、地域らしさを感じられる風景が整えられ、邪魔なものに阻害されずに見える景観のことだといえます。

そのため、良い景観づくりには、「玉名らしい景観」に愛着・誇りを持ち、整え、高めていくことが大切です。

Q. 景観が良くなると、どんな良いことがあるの？

A. 玉名市に「住んでいたい」「行ってみたい」と思うようなまちが創出されます。

景観が良くなると、観光客や人口の増加、美しい緑やまちなみが生活環境の向上につながるなどの効果が期待できます。

玉名市民が「ずっと住んでいたい」、市外の人々が「行ってみたい」と思うようなまちが創出されるのです。

まちづくりの趣旨だけでなく、**なぜまちづくりが必要なのか**等も含めてわかりやすい言葉で説明。

景観の将来像は、玉名らしい景観をつくり『語る』こと！

「関わる【かたる】」「感じる」

「守る・育む」

玉名市の魅力的な景観を受け継いで、子どもたちや未来へ伝えていきたい！

「景観の将来像」を掲げて、景観まちづくりを進めます

菊池川が育んだ味わい深い景観をかたるまち

「語る」ことができる」「訪れる」

「住みたくなる」「歩きたくなる」

基本理念と行動指針の関係性・構造を図示。行動指針に関わる事例もあわせて掲載。

[イメージ事例] 第9次氷見市総合計画 概要版
(<https://www.city.himi.toyama.jp/gyosei/soshiki/sosei/1/2/7986.html>)

住みたいまち

育てたいまち

働きたいまち

市民とともに持続可能なまち

地域(忽那諸島、風早、久谷、三津浜)ごとに、めざすまちの姿やまちづくりの方針、目標などを写真等も含めて掲載。

[イメージ事例] 第6次小田原市総合計画 子ども版
(<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/municipality/vision/>)

2030年の小田原市はどんなまち？

●小田原市をこんなまちにしたい！ ●いま、わたしにできることは？

各頁に、読み手(学生など)に地域づくり等について**考えて記入**してもらうワーク欄を設けることで、学校などでも教科書的に使えるような構成にする。